



通信

HP 学校だより
R6.1.31
NO.37
文責 伊藤美佳



なわとび大会で得たもの

豊坂小学校では、この時期になわとび大会が行われます。短縄の大会は、決められた種目と自分で選択する種目の2種目について、学年単位で大会を行います。規定時間にずっと跳び続けられた子や一番多い回数跳べた子が優勝者です。

また、長縄の大会（これを「なわとび大会」と呼んでいます）は30日（火）に行われました。「なわとび大会」に向けて、各クラスで目標を決め、その目標めざしてクラスで練習している風景をよく見かけました。4年生の通信に、目標を決めるための話し合いをもったとき、「得意な子とそうでない子がいることを考え」とか、「自分とは、異なる意見にも耳を傾けて話し合おうとして」と書かれていました。多様な考えを受け入れつつ、自分たちで折り合いをつけることの練習ができたことが分かり、うれしい気持ちになりました。

当日は、自分たちの目標達成をめざし、少し緊張ぎみの顔をした子、声を掛け合って気持ちを鼓舞する子・・・でも、目標は1つ。自分たちの決めた回数より1回でも多く跳ぶこと！低学年の時には高学年が、高学年の時には低学年が応援します。引っかけなくても、「大丈夫だよ」「次、跳べるよ」そんな励ましの声が飛び交います。目標に向かって、みんなで頑張る経験は、子どもたちを大きく成長させてくれたと感じました。

「これで、なわとび大会を終わります。」という号令の後に、「ああ、楽しかった。」と1年生の子が感想を漏らしました。素直に気持ちを表現できることが素敵だなと感じた瞬間でした。

「あこがれ」の姿

来週、代表委員会主催のお笑いグランプリが開催されます。そのために、出演者の中間発表会（アドバイスをもらえる）が行われました。3年生は、校外学習があるために、30日にネタ披露をしましたが、なかなかうまくいきません。最後に5年生がネタ披露をすると、「おもしろい」「あんなふうにはできるといいな」とあこがれのまなざしで話っていました。「あこがれ」の存在ってすごく大切だなと思います。早速、「新しいネタを作ってきます。」と意欲満々の3年生でした。「あこがれ」の姿からインスピレーションを受けて、どんな姿に変容していくのかとても楽しみです。

新1年生体験入学での一コマ

新1年生の体験入学と保護者説明会を26日（金）に行いました。1年生は、体育館まで迎えに来たり、一緒におもちやを作ったりする中で、お兄さんやお姉さんの顔になってきたことをうれしく感じました。また、保護者説明会の前に、「被災地の方々のために」と6年生代表委員の子どもたちが、「募金活動」を行いました。快く募金してくださる保護者の皆さんに、子どもたちも温かい「心」をいただきました。ご協力ありがとうございました。

1月31日までの募金総額

95,417円

